



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社東祥 上場取引所 東名
 コード番号 8920 URL <https://www.to-sho.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名裕一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部課長 (氏名) 小林 徹哉 TEL 0566-79-3111
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	27,595	△22.5	7,472	27.0	7,475	25.9	3,548	188.9
2025年3月期	35,619	15.2	5,884	48.7	5,936	44.9	1,228	—

（注）包括利益 2026年3月期 5,039百万円（107.4%） 2025年3月期 2,430百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	95.08	—	9.6	10.4	27.1
2025年3月期	32.06	—	3.4	8.1	16.5

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 41百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	71,977	45,153	52.5	1,045.94
2025年3月期	72,177	42,265	50.2	946.18

（参考）自己資本 2026年3月期 37,781百万円 2025年3月期 36,244百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	7,899	△1,333	△5,554	20,016
2025年3月期	15,425	△6,566	△4,418	19,005

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00	191	15.6	0.5
2026年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	368	10.5	1.0
2027年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		11.0	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,560	△2.0	3,780	2.7	3,770	2.0	1,550	△8.9	43.64
通期	27,370	△0.8	7,660	2.5	7,630	2.1	3,230	△9.0	91.19

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	38,315,000株	2025年3月期	38,315,000株
2026年3月期	2,192,793株	2025年3月期	9,093株
2026年3月期	37,322,531株	2025年3月期	38,305,907株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	15,353	△37.1	2,578	88.7	2,795	72.9	2,039	—
2025年3月期	24,414	16.8	1,366	233.2	1,616	140.8	△469	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	54.64	—
2025年3月期	△12.27	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	43,261	30,092	69.6	833.08
2025年3月期	46,506	30,070	64.7	785.01

(参考) 自己資本 2026年3月期 30,092百万円 2025年3月期 30,070百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(賃貸等不動産に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済動向は、AI関連を中心とした企業の投資やインバウンド需要が大きく寄与し、経済成長をけん引しました。一方で、金融面では円安傾向にある為替と、日本銀行の政策金利の追加利上げを巡る不安定な状況が続いています。また、地政学リスクの影響が依然として大きく、中東情勢の緊迫化により、原油関連を中心としたエネルギー及び関連製品の供給状況に不確実性が生じ、今後も予断を許さない状況です。

このような経済動向の下、当社グループでは、マーケットの状況、競合の動向、そして顧客行動等の詳細な分析と洞察に基づき、組織能力と経営資源を最大限活用し、企業価値向上を最優先課題ととらえ、事業活動を遂行しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は27,595百万円（前年同期比22.5%減）、営業利益は7,472百万円（同27.0%増）、経常利益は7,475百万円（同25.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,548百万円（同188.9%増）となりました。

当連結会計年度の事業別の活動状況と経営成績は次のとおりであります。

【スポーツクラブ事業】

スポーツクラブ事業における当連結会計年度末の店舗数は、95店舗となりました。2025年4月に豊田店（愛知県豊田市）、2025年6月に西一之江店（東京都江戸川区）、2025年9月末で福井店（福井県福井市）、2025年10月に座間林間店（神奈川県座間市）が閉店し、経営資源の選択と集中が進みました。

当社が運営する「ホリデイスポーツクラブ」では、新規会員の獲得を促進するため、入会から一定期間の月会費を通常価格より抑えた新たな会員種別を展開しております。また、2025年11月までに一部の店舗で月会費の見直しを行い、2023年の価格改定の際に旧価格のまま据え置いておりました既存会員の会費を現行価格に統一しました。さらに、女性をターゲットとした新たなマシンを導入し、新サービスを順次展開しております。また、コストの上昇に対応するため、月会費の価格転嫁の他にも省エネ効率の高い設備への更新、業務プロセスの見直しによる省人化体制の構築といった、収益力強化の取り組みが費用の削減に大きく寄与しております。

この結果、当連結会計年度のスポーツクラブ事業の売上高は12,562百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

【ホテル事業】

子会社であるABホテル株式会社が運営する「ABホテル」では、インバウンド需要を取り込むため海外系OTA（Online Travel Agency）への露出を強化し、一部店舗でのウェルカムドリンクの無料提供などを行い、顧客満足度の向上と宿泊稼働率の適正化に努めました。また、人件費や資源価格の高騰に対応するため、自社清掃店舗を拡大するなどコストの削減を実施するとともに、レベニューマネジメントを行い、コスト増加分を反映した販売価格の設定と、収益最大化を両立する施策を展開いたしました。

こうした取り組みの結果、主要顧客であるビジネス客の底堅い需要に加え、関西圏を中心としたインバウンド需要の増加により、客室単価は上昇しました。また、稼働率の適正化を並行して進めたことにより、前々期までに開業した既存34店舗の当連結会計年度の平均宿泊稼働率は84.7%（前年同期比3.0ポイント減）となりました。2025年9月には、「ABホテル越前武生」、2026年2月には、「ABホテル犬山」を出店し、新規開業店舗を含め運営店舗は38店舗となり、客室数は4,938室となりました。

この結果、当連結会計年度のホテル事業の売上高は12,274百万円（同15.2%増）となりました。

【不動産事業】

当社の不動産事業では、所有する主力の賃貸マンション「A・City」で、入居者のニーズに合わせた設備の充実やプランの設定など、満室経営に向けた施策を実施しました。当連結会計年度において、2025年6月に所有する賃貸マンションのうち1棟（80室）を売却し、所有賃貸マンション部屋数は、51棟（2,040室）となりました。また、2025年6月よりテナントビルTOSHO BLDG豊田が営業を開始しています。

この結果、当連結会計年度の不動産事業の売上高は2,758百万円（前年同期比77.8%減）となり、前年同期に収益用不動産の売却があった反動により大幅な減収となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は71,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円減少いたしました。

流動資産は22,468百万円となり、同37百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が512百万円減少した一方、その他流動資産が364百万円、売掛金が188百万円増加したためであります。

固定資産は49,509百万円となり、同232百万円の減少となりました。これは主に土地が215百万円減少したためであります。

流動負債は7,421百万円となり、同7,032百万円の減少となりました。これは主に社債の償還に伴い1年内償還予定の社債が5,000百万円、借入金の返済に伴い1年内返済予定の長期借入金が1,541百万円、短期借入金が721百万円減少したためであります。

固定負債は19,402百万円となり、同3,943百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が3,729百万円増加したためであります。

純資産は45,153百万円となり、同2,888百万円の増加となりました。これは主に自己株式の取得により純資産が1,714百万円減少した一方、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が3,246百万円、非支配株主持分が1,350百万円増加したためであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローにつきましては、営業活動による収入が7,899百万円あった一方、投資活動による支出が1,333百万円、財務活動による支出が5,554百万円あった結果、現金及び現金同等物は20,016百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7,899百万円（前年同期は15,425百万円の収入）であります。これは主に税金等調整前当期純利益が7,538百万円あったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,333百万円（前年同期は6,566百万円の使用）であります。これは主に定期預金の払戻による収入が2,805百万円あった一方、スポーツクラブ、ビジネスホテル並びに賃貸マンションに係る有形固定資産の取得による支出が2,725百万円、定期預金の預入による支出が1,282百万円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5,554百万円（前年同期は4,418百万円の使用）であります。これは主に社債の償還による支出が5,000百万円あったこと等を反映したものであります。

（4）今後の見通し

2027年3月期（予想）につきましては、スポーツクラブ事業における2026年3月末の会員数及び直近の入退会の状況、ホテル事業における直近の宿泊稼働率及び客室単価、不動産事業における賃貸マンション、テナントビルの入居率を参考数値とし、市場動向、競業環境等を総合的に勘案し業績予想を算出した結果、売上高27,370百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益7,660百万円（同2.5%増）、経常利益7,630百万円（同2.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,230百万円（同9.0%減）と予想いたしました。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は現在日本国内に限定されており、海外での事業展開がないこと、株主、投資家のみなさま方の認知状況および上場会社におけるIFRS会計基準（国際財務報告基準）の採用状況を踏まえ、当面は日本基準を採用することとしております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,214,983	20,702,952
売掛金	687,310	875,598
営業未収入金	143,939	134,592
商品	6,737	1,773
貯蔵品	33,391	44,056
その他	345,287	709,876
貸倒引当金	△710	△670
流動資産合計	22,430,939	22,468,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,285,211	57,239,328
減価償却累計額	△25,083,447	△26,038,016
建物及び構築物 (純額)	31,201,764	31,201,312
機械装置及び運搬具	2,006,234	2,015,667
減価償却累計額	△1,540,757	△1,625,610
機械装置及び運搬具 (純額)	465,477	390,056
工具、器具及び備品	1,607,366	1,717,941
減価償却累計額	△1,455,576	△1,479,442
工具、器具及び備品 (純額)	151,790	238,499
土地	11,051,308	10,835,532
リース資産	4,817,656	5,194,528
減価償却累計額	△1,967,992	△2,218,191
リース資産 (純額)	2,849,663	2,976,337
建設仮勘定	772,335	494,110
有形固定資産合計	46,492,339	46,135,848
無形固定資産		
その他	73,580	70,447
無形固定資産合計	73,580	70,447
投資その他の資産		
投資有価証券	500	500
敷金及び保証金	2,484,280	2,307,168
長期貸付金	6,049	1,083
繰延税金資産	557,881	436,730
その他	139,174	569,270
貸倒引当金	△11,760	△11,760
投資その他の資産合計	3,176,125	3,302,993
固定資産合計	49,742,046	49,509,288
繰延資産		
社債発行費	4,858	—
繰延資産合計	4,858	—
資産合計	72,177,844	71,977,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,557	265
短期借入金	721,000	—
1年内償還予定の社債	5,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	3,958,336	2,417,066
リース債務	443,163	466,566
未払金	1,366,605	1,373,738
未払法人税等	1,213,134	1,547,065
未払消費税等	400,135	457,777
賞与引当金	123,710	131,880
役員賞与引当金	21,180	29,546
店舗閉鎖損失引当金	265,531	—
その他	939,091	997,387
流動負債合計	14,453,444	7,421,293
固定負債		
長期借入金	8,697,729	12,427,573
リース債務	2,539,284	2,644,756
役員退職慰労引当金	877,460	899,920
退職給付に係る負債	123,682	111,036
資産除去債務	3,060,265	3,026,918
その他	160,178	291,973
固定負債合計	15,458,601	19,402,178
負債合計	29,912,045	26,823,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,580,817	1,580,817
資本剰余金	2,295,784	2,295,784
利益剰余金	32,363,392	35,609,654
自己株式	△8,148	△1,722,806
株主資本合計	36,231,846	37,763,449
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	12,581	18,320
その他の包括利益累計額合計	12,581	18,320
非支配株主持分	6,021,370	7,372,227
純資産合計	42,265,798	45,153,998
負債純資産合計	72,177,844	71,977,469

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	35,619,427	27,595,541
売上原価	27,820,631	18,395,456
売上総利益	7,798,796	9,200,085
販売費及び一般管理費		
販売促進費	17,380	28,522
販売手数料	431,553	417,033
役員報酬	262,083	278,020
役員賞与引当金繰入額	21,180	29,306
役員退職慰労引当金繰入額	20,400	23,330
給料及び賞与	354,929	351,982
賞与引当金繰入額	16,420	15,544
退職給付費用	3,199	3,392
業務委託費	256,330	66,443
租税公課	223,817	202,041
減価償却費	24,920	19,601
その他	281,623	292,507
販売費及び一般管理費合計	1,913,839	1,727,726
営業利益	5,884,957	7,472,359
営業外収益		
受取利息	6,131	33,830
受取配当金	2	1
受取手数料	102,260	101,816
受取賃貸料	50,652	62,979
持分法による投資利益	41,454	—
その他	47,695	22,607
営業外収益合計	248,196	221,235
営業外費用		
支払利息	122,487	142,031
社債利息	29,069	27,354
その他	45,239	48,293
営業外費用合計	196,797	217,678
経常利益	5,936,356	7,475,915
特別利益		
固定資産売却益	—	62,043
資産除去債務戻入益	—	69,304
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	5,938
関係会社株式売却益	89,487	—
関係会社清算益	31,275	—
特別利益合計	120,762	137,285
特別損失		
固定資産除却損	3,020	1,345
投資有価証券売却損	55,098	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	268,509	—
店舗閉鎖損失	3,049	13,359
減損損失	1,595,759	59,771
特別損失合計	1,925,437	74,476
税金等調整前当期純利益	4,131,681	7,538,724
法人税、住民税及び事業税	1,855,521	2,386,806
法人税等調整額	△159,643	118,572
法人税等合計	1,695,877	2,505,378
当期純利益	2,435,804	5,033,345
非支配株主に帰属する当期純利益	1,207,689	1,484,767
親会社株主に帰属する当期純利益	1,228,114	3,548,578

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,435,804	5,033,345
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△5,708	5,738
その他の包括利益合計	△5,708	5,738
包括利益	2,430,096	5,039,084
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,222,406	3,554,317
非支配株主に係る包括利益	1,207,689	1,484,767

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,580,817	2,295,798	31,288,501	△8,148	35,156,969
当期変動額					
剰余金の配当			△153,223		△153,223
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,228,114		1,228,114
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△14			△14
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△14	1,074,891	—	1,074,876
当期末残高	1,580,817	2,295,784	32,363,392	△8,148	36,231,846

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	18,290	18,290	5,143,082	40,318,341
当期変動額				
剰余金の配当				△153,223
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,228,114
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				△14
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△5,708	△5,708	878,288	872,580
当期変動額合計	△5,708	△5,708	878,288	1,947,456
当期末残高	12,581	12,581	6,021,370	42,265,798

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,580,817	2,295,784	32,363,392	△8,148	36,231,846
当期変動額					
剰余金の配当			△302,316		△302,316
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,548,578		3,548,578
自己株式の取得				△1,714,658	△1,714,658
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	3,246,262	△1,714,658	1,531,603
当期末残高	1,580,817	2,295,784	35,609,654	△1,722,806	37,763,449

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	12,581	12,581	6,021,370	42,265,798
当期変動額				
剰余金の配当				△302,316
親会社株主に帰属する 当期純利益				3,548,578
自己株式の取得				△1,714,658
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	5,738	5,738	1,350,856	1,356,595
当期変動額合計	5,738	5,738	1,350,856	2,888,199
当期末残高	18,320	18,320	7,372,227	45,153,998

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,131,681	7,538,724
減価償却費	2,540,522	2,263,762
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	710	△40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	123,710	8,170
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,180	8,366
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△67,210	22,460
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,738	△4,329
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	265,531	△265,531
受取利息及び受取配当金	△6,133	△33,832
支払利息及び社債利息	151,557	169,385
社債発行費償却	5,300	4,858
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△62,043
減損損失	1,595,759	59,771
持分法による投資損益 (△は益)	△41,454	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△89,487	—
関係会社清算損益 (△は益)	△31,275	—
固定資産除却損	3,020	1,345
投資有価証券売却損益 (△は益)	55,098	—
資産除去債務戻入益	—	△69,304
その他の特別損益 (△は益)	3,049	—
売上債権の増減額 (△は増加)	313,960	△178,940
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,800	△5,701
販売用不動産の増減額 (△は増加)	9,156,720	721,410
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,491	△1,291
未払又は未収消費税等の増減額	△352,244	103,061
その他の資産の増減額 (△は増加)	74,152	△361,153
その他の負債の増減額 (△は減少)	△79,878	178,838
その他	△553,574	—
小計	17,232,743	10,097,986
利息及び配当金の受取額	5,711	33,581
利息の支払額	△152,516	△176,573
法人税等の支払額	△1,660,414	△2,055,331
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,425,523	7,899,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△197,128	△1,282,150
定期預金の払戻による収入	—	2,805,701
有形固定資産の取得による支出	△8,952,967	△2,725,548
有形固定資産の売却による収入	—	180,201
投資有価証券の売却による収入	1,900,000	—
差入保証金の差入による支出	△11,100	△1,638
差入保証金の回収による収入	609,340	169,430
保険積立金の積立による支出	—	△446,751
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	115,707	—
その他	△30,278	△32,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,566,426	△1,333,612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	591,000	△721,000
長期借入れによる収入	5,100,000	6,300,000
長期借入金の返済による支出	△9,712,532	△4,111,426
社債の償還による支出	—	△5,000,000
セール・アンド・リースバックによる収入	322,745	462,097
配当金の支払額	△152,888	△302,434
非支配株主への配当金の支払額	△107,078	△133,886
非支配株主への清算分配金の支払額	△150,092	—
自己株式の取得による支出	—	△1,714,658
リース債務の返済による支出	△309,805	△333,222
その他	△55	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,418,707	△5,554,530
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,440,389	1,011,520
現金及び現金同等物の期首残高	14,564,788	19,005,178
現金及び現金同等物の期末残高	19,005,178	20,016,698

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(賃貸等不動産に関する注記)

当社グループでは、主に愛知県内において、賃貸用マンション、テナントビル等(土地を含む)を有しております。前連結会計年度における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は479,618千円(賃貸収益は売上高に、主な賃貸費用は売上原価に計上)であり、当連結会計年度における当該賃貸等不動産に関する賃貸損益は710,863千円(賃貸収益は売上高に、主な賃貸費用は売上原価に計上)であります。

また、当該賃貸等不動産の連結貸借対照表計上額、期中増減額及び時価は、次のとおりであります。

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
連結貸借対照表計上額		
期首残高	6,560,911	9,365,541
期中増減額	2,804,629	△133,072
期末残高	9,365,541	9,232,469
連結会計年度末の時価	14,304,929	14,752,458

- (注) 1. 連結貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。
2. 期中増減額のうち、前連結会計年度の主な増加額は不動産取得(3,445,573千円)であり、主な減少額は不動産売却(461,743千円)及び減価償却(179,200千円)であります。当連結会計年度の主な増加額は不動産取得(782,889千円)であり、主な減少額は不動産売却(719,727千円)及び減価償却(196,233千円)であります。
3. 連結会計年度末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額(指標等を用いて調整を行ったものを含む。)であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、「スポーツクラブ」、「ホテル」及び「不動産」の事業からなり、各々独立して事業を展開していることから、「スポーツクラブ事業」、「ホテル事業」及び「不動産事業」の3つを報告セグメントとしております。

「スポーツクラブ事業」は、「ホリデイスportsクラブ」という名称で当連結会計年度末現在全国に95店舗を展開しております。「ホテル事業」は、「A Bホテル」の名称で当連結会計年度末現在愛知県を中心に38店舗展開しており、「不動産事業」は、「ホリデイゴルフガーデン」という名称で愛知県安城市で2店舗のゴルフ練習場、「A・C i t y」等の名称で主に愛知県内で51棟の賃貸マンション及び「T O S H O B L D G」等の名称で3棟のテナントビルを所有、運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、連結財務諸表を作成するために採用した会計処理の原則及び手続と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 事業	ホテル事業	不動産事業			
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	12,566,742	10,620,548	10,024,462	33,211,753	—	33,211,753
その他の収益	—	31,080	2,376,593	2,407,673	—	2,407,673
外部顧客への売上高	12,566,742	10,651,628	12,401,056	35,619,427	—	35,619,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	27,417	26,212	53,629	△53,629	—
計	12,566,742	10,679,046	12,427,268	35,673,057	△53,629	35,619,427
セグメント利益	487,922	3,962,837	1,432,757	5,883,517	1,440	5,884,957
セグメント資産	20,206,026	26,569,551	9,929,092	56,704,670	15,473,174	72,177,844
その他の項目						
減価償却費	1,240,694	853,868	441,390	2,535,953	4,568	2,540,522
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,424,439	3,955,599	3,752,428	9,132,467	14,570	9,147,037

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額1,440千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額15,473,174千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は主に当社の現金及び預金、繰延税金資産並びに管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 事業	ホテル事業	不動産事業			
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	12,562,593	12,243,048	1,242,443	26,048,085	—	26,048,085
その他の収益	—	31,080	1,516,375	1,547,455	—	1,547,455
外部顧客への売上高	12,562,593	12,274,128	2,758,819	27,595,541	—	27,595,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,775	31,632	51,408	△51,408	—
計	12,562,593	12,293,904	2,790,452	27,646,950	△51,408	27,595,541
セグメント利益	1,669,121	4,892,539	909,258	7,470,919	1,440	7,472,359
セグメント資産	19,160,942	29,329,816	9,760,658	58,251,417	13,726,052	71,977,469
その他の項目						
減価償却費	1,120,766	915,503	220,242	2,256,512	7,249	2,263,762
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	433,320	1,744,899	741,604	2,919,824	—	2,919,824

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額1,440千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額13,726,052千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は主に当社の現金及び預金、繰延税金資産並びに管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
エスティ12合同会社	9,000,327	不動産事業

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

「スポーツクラブ事業」セグメントにおいて、一部店舗に収益性の低下が見られるため固定資産の減損損失として1,595,759千円計上しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

「ホテル事業」セグメントにおいて、店舗の出店を中止したため固定資産の減損損失として59,771千円計上しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	946円18銭	1,045円94銭
1株当たり当期純利益	32円06銭	95円08銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	42,265,798	45,153,998
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	6,021,370	7,372,227
(うち非支配株主持分 (千円))	(6,021,370)	(7,372,227)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	36,244,428	37,781,770
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数 (株)	38,305,907	36,122,207

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,228,114	3,548,578
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,228,114	3,548,578
普通株式の期中平均株式数 (株)	38,305,907	37,322,531

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。